

2017年度 第3回 理事会報告

開催日時：2017年10月20日（金）17：00～19：00

開催場所：株式会社国際文献社 高田馬場会議室（東京都新宿区高田馬場4-4-19）

I. 会長挨拶

岩崎会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

総務担当金子理事より、岩崎晋也会長が議長となり、出席理事を確認し、「定款第43条」に規定されている要件を充足したので「2017年度第3回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、岩崎晋也会長、市川一宏監事、黒木保博副会長を議事録署名人として選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当金子理事より回覧資料に基づき説明があった。審議の結果、17名全員の2017年度入会が満場一致で承認された

第2号議案 研究倫理に関する各新規程（案）について

研究倫理に関する検討委員会委員長の山田理事より、配布資料に基づき説明があった。前回理事会での協議をもとにした修正案について細部にわたって確認し、パブリックコメント募集に向けた最終協議を行った。審議の結果、最終文案について、満場一致で承認された。

第3号議案 日中韓における研究交流の推進に関する覚書について

国際学術交流促進委員会担当黒木副会長より、配布資料に基づき説明があった。日中韓3学会の学術交流協定「覚書」の締結および覚書案について、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 学会賞審査委員への委嘱について

総務担当金子理事より、3名の委員の任期満了に伴い新たに3名の会員に委員を委嘱することについて、配布資料に基づき説明があった。審議を行った結果、満場一致で承認された。

第5号議案 2018年度業務委託契約について

総務担当金子理事より、株式会社国際文献社との2018年度契約について、学会事務部門、印刷製本部門、編集事務部門、秋季大会部門の契約を締結するとの提案があった。

2017年度契約からの変更点を確認し、審議の結果、満場一致で承認された。

第6号議案 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会への加盟について

岩崎会長より配布資料に基づき、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会への加盟の方針について提議があった。審議の結果、加盟することが満場一致で承認された。

第7号議案 大会のあり方アンケート中間報告について

大会のあり方検討委員会担当原田理事より、2016年度に実施した大会のあり方アンケートの結果について、委員会内で分析をした中間報告書に基づき説明があった。引き続き検討事項とし、次回理事会にて最終案について再度審議の予定である。

第8号議案 編集委員会からの議題について

機関誌編集担当理事より、再投稿に関する注意喚起文の学会ホームページへの掲載について提議があり、審議の結果、満場一致で承認された。また、現在の査読委員に委員継続を依頼するとともに、新たに委嘱する査読委員候補者について説明があり、満場一致で承認された。

第9号議案 Aging & Society 第8回学際学会への後援について

岩崎会長より Aging & Society 第8回学際学会（於：東洋大学）からの参加・協賛・後援依頼に対して承諾する方針について、配布資料に基づき提議があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第10号議案 その他

特になし。

IV. 報告事項

1. 2017年度会員動向について

総務担当金子理事より、現在の会員数および年会費の納入状況について配布資料に基づき報告があった。

2. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当原田理事より、10月21日、22日に開催される第65回秋季大会（於：首都大学東京）の参加および発表申込み状況について、配布資料に基づき説明があった。また、当日のスケジュールおよび役員・名誉会員の出欠状況等を含めた準備状況を確認した。

フォーラム担当倉田理事より、第14回フォーラムの申込み状況について報告があっ

た。

3. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坏理事より、機関誌『社会福祉学』および英文誌の編集状況、機関誌58巻のJ-STAGEへのデータ登載完了、拡大編集委員会の開催について報告があった。

査読システムの導入および二重投稿ガイドラインについて、引き続き編集委員会で検討を行う。

4. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当大島理事より、2017年10月21日に首都大学東京にて開催される学会賞授賞式の次第案について説明があった。

5. 広報委員会からの報告

広報委員会担当小原理事より広報活動について配布資料に基づき報告があった。更新に遅れが生じていた英文ページは、近日中に順次更新の予定である。

6. 第5期代議員選挙管理委員会からの報告

選挙管理委員会担当原田理事より報告があり、第5期代議員選挙管理委員長について、現在の選挙実施状況および今後の予定について確認した。

7. 若手・女性研究者に対する支援検討委員会からの報告

若手・女性研究者に対する支援検討委員会担当保正理事より、現在実施中のアンケートについて報告があった。第65回秋季大会開会式での学会代表挨拶内で、アンケート回答への協力を呼びかけることとなった。アンケート集計結果は2018年度定時社員総会で最終報告を行う。

8. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック : 報告事項は特になし。
- ・東北地域ブロック : 7月23日に「地域共生社会の実現に向けて」をテーマとして第17回研究大会（山形大会）を開催した。
- ・関東地域ブロック : 第2回運営委員会を9月22日に開催した。また、2018年3月4日に明治学院大学にて研究大会を開催予定である。
- ・中部地域ブロック : 常任幹事会を定期開催した。2018年度研究例会は例年通り4月に開催予定である。
- ・関西地域ブロック : 2017年度の年度大会は龍谷大学短期大学にて2月の開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック : 2018年度研究大会を四国学院大学にて開催を予定してお

り、現在準備を進めている。機関誌『中国・四国社会福祉研究』の査読が終了し、近日中の発行を予定している。

- ・九州地域ブロック : 報告事項は特になし。

9. その他（後援依頼、他）

- ・後援依頼について

総務担当金子理事より、2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

- ・関連団体からの報告

<日本社会福祉系学会連合>

黒木副会長より、2017年度の公開研究会を12月17日に「インクルーシブな地域コミュニティをいかに構築するかー実践の成果と課題」をテーマとして、上智大学で開催予定であるとの報告があった。

<社会政策関連学会協議会>

報告事項は特になし。

<ソーシャルケアサービス従事者研究協議会>

岩崎会長より、団体の名称の変更も含めて、今後の方向性や活動方針等について、議論を重ねているとの報告があった。

<社会学系コンソーシアム>

報告事項は特になし。

議長は、議事終了を告げ、19時00分に理事会を解散した。

以上